

「青少年の被害・非行防止道民総ぐるみ運動」北海道知事メッセージ

北海道の将来を担う青少年が、豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに、夢と希望をもって成長していくことは、私たち道民の願いです。

スマートフォンやSNSの急速な普及など、青少年を取り巻く環境が一層多様化する中、SNSやオンラインゲームを通じて知り合った面識のない被疑者から性犯罪等の被害を受けた児童数が高い水準で推移し、児童ポルノ事犯等で検挙される少年も近年急増しています。SNS等を利用する時間の増加に伴いトラブルに巻き込まれるリスクが高まると懸念され、インターネット利用におけるこどもの性被害等を防止することは喫緊の課題です。

また、いわゆる「闇バイト」に応募した少年による組織的な特殊詐欺や強盗等への加担、違法性等を理解せずに利用してしまうオンラインカジノが大きな社会問題となっているほか、大麻をはじめとする薬物事犯の検挙人員が高い水準で推移するなど、青少年の置かれている状況は、被害と非行の両面において深刻なものとなっています。

本道の未来を担う青少年の育成は、家庭、学校、地域社会など、社会全体で取り組むべき課題であり、私たち道民が一丸となって、青少年の被害と非行の防止に取り組んでいくことが重要です。

道では、7月を「青少年の被害・非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」とし、最重点課題と7つの重点課題を掲げ、市町村や関係機関・団体等の力を結集して取組を進めてまいりますので、多くの道民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

○ 最重点課題

インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止

○ 重点課題

- (1) 有害環境への適切な対応
- (2) 薬物乱用対策の推進
- (3) 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- (4) 再非行（犯罪）の防止
- (5) 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動及びその被害への対応
- (6) 社会を明るくする運動の推進
- (7) 「道民家庭の日」の普及

令和7年（2025年）7月

北海道知事 鈴木 直道